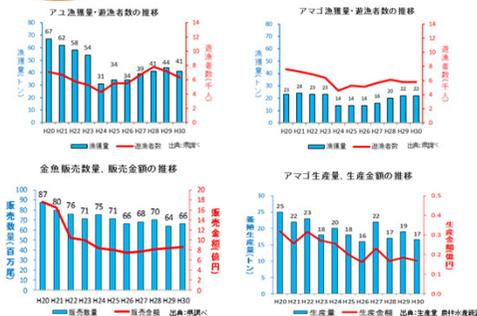


Ⅶ 豊かな「都」をつくる 23 畜産・水産業振興 (130) 内水産業の振興

これまでは

河川漁業、養殖業ともに低迷気味でした。

現状



主な取組例

- 安全・安心なアマゴ等食用魚の養殖生産技術を指導
- 観賞魚の安定生産に係る魚病対策などの取組を支援
- 健全でよく釣れるアユ稚魚の放流及び天然アマゴの増殖を支援
- アユ釣り教室の開催により釣り人を増やす取組を実施
- 放流魚及び養殖魚の食害を軽減するためカワウの捕獲を支援
- 食害が懸念される外来生物の防除技術を開発

もっと良くするために

奈良県水産業の持続的な発展のための新たな取組を進めています。

- 養殖業の担い手を育成・確保するとともに意欲ある担い手の新たな挑戦を支援します。
- 陸上養殖による養殖魚を地域の新たな特産品として育成します。
- 地域の食や観光の資源であるアユやアマゴ等の釣りを楽しむ人の増加を図ります。
- 放流魚等の食害を防止するため、外来生物の防除方法を普及・啓発します。

令和2年度の事業展開

- 養殖業振興(1百万円)
 - ・就業希望者と養殖業者のマッチング実施
 - ・陸上養殖による養殖魚を特産品として育成
- 漁業振興(6百万円)
 - ・健全で適正なアユ種苗等の養成・放流補助
 - ・外来生物の行動生態調査・防除方法開発
- 組合指導(2百万円)
 - ・水産業協同組合の指導監督

令和2年度予算案 9百万円

R2予算案 8,540千円

〈令和2年度の事業展開〉

○養殖業振興(1,123千円)

- ・就業希望者を対象とした養殖実践研修及び養殖業者とのマッチングを実施
- ・金魚等観賞魚の疾病対策に係る取組に補助
- ・養殖魚の衛生管理等を指導
- ・陸上養殖による養殖魚を特産品として育成

○漁業振興(6,131千円)

- ・健全で適正なアユ等の養成・放流及びアマゴの資源増殖のための取組に補助
- ・外来生物の行動生態等調査及び効果的な防除方法を開発・普及
- ・カワウによる食害軽減のためカワウの捕獲に補助

○組合指導(1,286千円)

- ・水産業協同組合の指導監督及び漁業取締等を実施

〈担い手育成・確保〉

養殖実践研修



金魚の選別作業

〈外来生物対策〉

外来魚に発信機を付けて行動を把握し、効率的に捕獲（近畿大学と連携）



外来魚

〈問い合わせ先〉

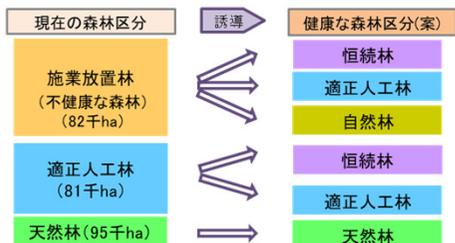
農林部
農業水産振興課 筒井課長補佐(内線3844)

Ⅶ 豊かな「都」をつくる 24 森林環境管理・林業振興 (131) 新たな森林環境管理制度の構築

これまで

スイスの森林環境管理制度を参考に、奈良県では森林の4機能である「森林資源生産・防災・生物多様性保全・レクリエーション」を一元的に管理する新たな森林環境管理制度の検討を重ねてきました。

スイスの森林を参考とした健康な森林の区分の設定



森林イメージ



もっと良くするために

「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」及び「奈良県産材の安定供給及び利用の促進に関する条例」を令和2年2月議会に提案します。

<制度の内容と特徴>

- ① 恒続林を中心とした新たな森林区分へ誘導します。
- ② 地域の森林環境管理を担う奈良県フォレスターを配置します。
- ③ フォレスターを養成する奈良県フォレスターアカデミーを設置します。(令和3年度開校)

森林環境管理の制度運用、体制構築、人材育成のための事業を進めます。

制度運用	○(新)条例の周知・運用関係(300万円) ○生物多様性指標の検討(100万円)
体制構築	○フォレスター業務推進(100万円) ○リース林業教育センター実習生受入準備(100万円) ○県有林恒続林化モデル事業(100万円)
人材育成	○フォレスターアカデミーへの総合アドバイス委託(800万円)、○リース林業教育センターへの職員短期派遣(900万円)、○フォレスターアカデミー開校準備(3060万円)
調査	○施業地調査(100万円) ○針広混交林化調査(100万円)

令和2年度予算案 341百万円

(132、133)と重複あり

R2予算案 341,421千円

制度運用

○新条例の周知・運用等

(2,958千円)

新条例の周知に向けたシンポジウムの開催
新条例に基づく指針を作成

○新たな森林環境管理における生物多様性指標の検討

(1,000千円)

ニホンミツバチのポリネーター(授粉者)の役割に着目し、森林の4機能のうち確立されていない生物多様性の指標を検討

調査

○スイス型林業施業地の継続調査

(321千円)

○人工林の恒続林誘導のための針広混交林化調査

(1,868千円)

森林の4機能(森林資源生産・防災・生物多様性保全・レクリエーション)を効果的に発揮することが可能な針広混交林への誘導方法を調査・研究

(多様な植生を有する針広混交林のイメージ)



体制構築

○奈良県フォレスター業務の推進

(300千円)

奈良県フォレスター配置に向けた準備
市町村からの伐採届等の業務受託に向けた市町村との調整

○リース林業教育センター実習生の受入準備

(730千円)

R3年度のリース林業教育センター実習生受入に向けた候補者面接等

○県有林にモデル恒続林を設置

(9,970千円)

本県の自然条件に適合した恒続林化を進めるため、県有林(川上村)にモデルとなる恒続林を設置

人材養成

○奈良県フォレスターアカデミーへの総合アドバイス

(8,200千円)

R3年度の奈良県フォレスターアカデミー開校に向け、運営等の総合アドバイスを委託

○リース林業教育センターへのフォレスター短期派遣

(9,930千円)

R3年度の奈良県フォレスターアカデミー開校に向け、県職員等をリース林業教育センターへ短期派遣



○フォレスターアカデミーの開校準備

(306,144千円)

R3年度の奈良県フォレスターアカデミー開校に向けた施設・設備整備等

<スケジュール>

- 令和元年度 新たな森林環境管理制度の方向性を定める条例の制定
- 令和2年度 水循環・森林・景観環境部に「森と人の共生推進室」を設置し、条例に基づく「新たな森林環境管理制度」の運用を開始
- 令和3年度 奈良県フォレスターアカデミー開校
市町村からの事務の委託の開始

<問い合わせ先>

農林部
新たな森林管理体制準備室
東村室長補佐(内線3991)

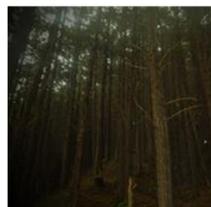
Ⅶ 豊かな「都」をつくる 24 森林環境管理・林業振興

(132) 森林防災体制の充実

これまで

森林の管理を怠れば森林は加害者になります。森林を適切に管理すれば災害を防いでくれます。

平成23年の紀伊半島大水害などに見られるように、広域の森林において、これまでの想定を上回る規模の激甚な山地災害が発生しており、住宅地、公共施設を守る「災害に強い森林づくり」への要望が従来にないほど高まっています。



施業放置林(間伐前)



平成23年紀伊半島大水害における山地災害

R2予算案 621,226千円

適正に管理されていない森林がもたらす土砂災害等の影響の重大性に鑑み、防災機能を重視した森林環境管理制度の導入や関係機関が保有する森林防災に関する情報を共有し、災害の発生を防止または軽減するために必要な施策を実施

令和2年度の取組

- ① 施業放置林の整備 (436,151千円)
県土保全等、森林が発揮すべき機能の増進を図るため、**施業放置林において強度な間伐**を実施
- ② 次世代型森林情報の活用推進 (136,262千円)
航空レーザ測量、解析による**森林資源情報や地形情報を市町村と共有**し、効果的な森林整備を推進
- ③ 森林情報の整備推進 (8,536千円)
防災機能を重視すべき**保安林の森林情報を整備し、市町村と共有**することにより、適正な管理を推進
- ④ (新)土地の改変にかかる協働監視 (5,000千円)
衛星写真を活用した土地改変の監視
- ⑤ 新たな森林環境管理体制の導入推進 (35,277千円)
新たな森林環境管理体制構築に向けた検討準備
新たな森林環境管理に必要な**人材育成の仕組みの検討**
スイス型林業施業地の調査及び**技術指針を作成し、市町村指導に活用**

もっと良くするために

防災機能を重視した森林環境管理制度を導入し、関係機関が災害関連情報を共有し、森林災害の軽減に必要な**施策を実施**します。

- 施業放置林で強度な間伐を実施(436百万円)
- 森林資源情報、地形情報を市町村と共有(136百万円)
- 保安林情報を市町村と共有(9百万円)
- (新)衛星写真による土地改変の協働監視(5百万円)
- 新たな森林環境管理体制導入の準備(35百万円)



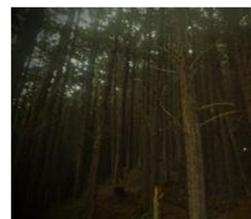
施業放置林(間伐後)



航空レーザ測量

令和2年度予算案 621百万円

(131、133)と重複あり



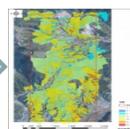
施業放置林
間伐前



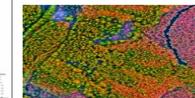
間伐後



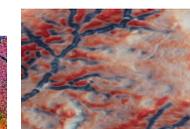
航空レーザ測量



平均樹高



林相図(樹種)



CS立体図 ...等

<問い合わせ先>

- 農林部 ①③④森林整備課 山中課長補佐(内線3971) ②林業振興課 三浦課長補佐(内線3941)
⑤新たな森林管理体制準備室 東村室長補佐(内線3991)

Ⅶ 豊かな「都」をつくる 24 森林環境管理・林業振興

(133) 奈良県フォレスター制度の確立、フォレスターアカデミーの設置

これまで

森林を護る人材の確保が必要となっています。

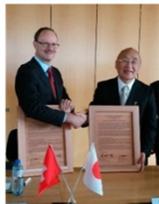
スイスではフォレスターと森林作業員がどちらも国家資格となっており、実践と応用を重視した教育システムで即戦力となる人材が育成されています。

スイス・リース林業教育センターと交流してスイスの森林管理制度を学んでいます。

スイスでの講習に職員を派遣



スイス・リース林業教育センターとの友好提携



スイスからの実習生を受入



R2予算案 306,144千円

- 令和2年度から新たな森林環境管理制度を開始し、その中核となる奈良県フォレスター制度が始動
- 奈良県フォレスター制度の担い手であるフォレスター育成機関として奈良県フォレスターアカデミーを設置

1. 令和2年度の取組

- フォレスターアカデミーの開校準備 (306,144千円)
 新たな森林環境管理拠点開所に向けた**基本計画の策定等**
 現吉野高等学校校舎を**フォレスターアカデミー校舎に改修**
サテライト実習場(林業機械化推進センター)の設備改修等
 カリキュラムに必要な**高性能林業機械・車両等の導入**
 チェーンソー等**実習用物品等の整備**
 第三者によるカリキュラム評価検討支援、**学生募集に向けたPR等**



高性能林業機械

2. スケジュール

- 令和元年～2年度 新たな森林環境管理拠点としての基本計画策定、実施設計(一部)
- 令和2年度 授業に必要な林業機械等の整備、アカデミー開校のための整備
- 令和3年度 奈良県フォレスターアカデミー開校(4月)**
- 令和4年度以降 令和7年の新たな森林環境管理拠点開所へ向け、森林技術センター等の移転も含めた実施設計、工事等

3. アカデミーの内容

コース	I. 森林作業員学科	II. フォレスター学科
①履修期間	1年	2年
②募集人数	10名	10名
③カリキュラム	森林の4機能(森林資源生産、防災、生物多様性保全、レクリエーション)、コミュニケーションについて学ぶ ・実習: 705時間 ・座学: 518時間	森林作業員学科のカリキュラムに加え、フォレスターに必要な経営能力、サポート能力、リーダーシップについて学ぶ ・実習: 1430時間 ・座学: 970時間

もっと良くするために

奈良県フォレスターアカデミーを令和3年4月開校。

○地域の森林管理を指導する「奈良県森林環境管理士」(2年制)と森づくりを実践する「奈良県森林環境管理作業士」(1年制)を養成。
 「奈良県森林環境管理士」を中心として奈良県フォレスターを任命。

随時適時の研修コースも準備。

○フォレスターアカデミーで習得する能力は、生産能力、即戦力となる現場スキル、森林計測、解析技術力など

フォレスターアカデミーの開校準備をします。
 (306百万円)

・吉野高等学校を活用した管理拠点の基本計画の策定・現吉野高校校舎の改修・カリキュラム実施に必要な高性能林業機械(ハーベスター)等の導入

ハーベスター



←スイス式架線集材機

令和2年度予算案 306百万円

(131、132)と重複あり

<問い合わせ先>

農林部 新たな森林管理体制準備室

東村室長補佐(内線3991)、藤平主任調整員(内線3992)

Ⅶ 豊かな「都」をつくる 24 森林環境管理・林業振興

(134) 奈良の木ブランド戦略

これまででは

吉野材に代表される品質の優れた「奈良の木」のブランド力を活かし、販路開拓、利用拡大を推進してきました。

科学的に検証された奈良の木の強み

- ・緻密で均一な年輪・節が少ない
- ・美しい色合い・まっすぐ・強い
- ・カビ・大腸菌・ウイルスに強い
- ・吸放湿性・消臭性有

○首都圏・海外への販路拡大

○建築物への利用拡大

奈良の木を活用したイベントの展開



ベトナムでの商談会



○建築物以外への利用の推進

○「奈良の木」の認知度向上

スギバイオリン完成披露演奏会



家具等職人の育成



もっと良くするために

「奈良の木」のブランド力を広げ、販路拡大する取組を続けます。

○国内外への販路拡大(27百万円)

・販路拡大アドバイザーの活用・新市場での商談会の実施

○県産材の利用促進(71百万円)

・公共建築物の木造・木質化推進・奈良の木使用住宅への助成
・家具職人の育成支援

○奈良の木の魅力の情報発信(24百万円)

・ポータルサイト・SNSの充実・奈良の木大学開講
・木づかい運動展開・木育の普及啓発

川上・川中・川下の事業者連携により、マーケットインの考え方に基づく、安定的・効率的で競争力を持つ供給・加工・流通体制(奈良の木サプライチェーン)を構築します。

○素材生産業者、供給・加工・流通業者、建築設計者等の連携体制の検討(3百万円)

○木材加工流通施設整備への補助

(R元・2月補正 127百万円)

令和2年度予算案 125百万円
令和元年度2月補正予算案 127百万円

R2予算案 124,955千円、R元・2月補正予算案 127,188千円

〈令和2年度の取組〉

○国内外への販路拡大 (26,669千円)

➢ 販路拡大アドバイザーを活用した首都圏の建築関係者等へのセールス等



建築関係者等への県産材PR

➢ 県産材の需要が見込まれる新市場での商談会の実施

➢ 海外事情に精通した専門家等からの情報収集
建築関係者・バイヤー・企業等とのマッチング支援

○県産材の利用促進 (71,493千円)

➢ 公共建築物等の木造化を推進するため、発注者、木材関係者、設計施工関係者による検討会を開催



木造化推進に向けた検討会

➢ 公共建築物の木造・木質化整備への補助

➢ 奈良の木を使用した住宅への助成

➢ 奈良の木を使用した家具等を製作する職人の育成支援

○供給・加工・流通体制の構築

(R2予算案 3,100千円)

(R元・2月補正予算案 127,188千円)

➢ 「奈良の木サプライチェーン」の構築に向けた素材生産業者、供給・加工・流通業者、建築設計者等の連携体制の検討

➢ 製材工場等の木材加工流通施設整備への補助

○奈良の木の魅力の情報発信 (23,693千円)

➢ 奈良の木のポータルサイト・SNSの充実

➢ 建築を学ぶ大学生を対象とした

「奈良の木大学」の開講

➢ 「木づかい運動」の推進

➢ 木育の普及啓発



子ども向け木育イベント

〈問い合わせ先〉

農林部

奈良の木ブランド課 川畑課長補佐 (内線3961)